

大学番号 私立164

注3

設置年度 令和 3年度
計画の区分： 学部の設置
注1

届出

静岡産業大学 スポーツ科学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人新静岡学園
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画調整室

職名・氏名

ジムキョクシチュウ スギタ マユミ
事務局次長 杉田 真弓

電話番号

054-631-5821

（夜間）

054-645-0191

e-mail

msugita@ssu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

スポーツ科学部

＜スポーツ科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	12
6. 附帯事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	22

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 新静岡学園

(2) 大学名

静岡産業大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒438-0043

静岡県磐田市大原1572番地1

(〒426-8668 静岡県藤枝市駿河台4丁目1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(サエグサ ユキフミ) 三枝 幸文 (平成28年6月)		
学長	(ワシザキ ハヤオ) 鷺崎 早雄 (平成28年4月)		
学部長	(オザワ ハルオ) 小澤 治夫 (令和3年4月)	(タカハシ カズコ) 高橋 和子 (令和3年4月)	学部長予定者の健康上の理由による変更 令和3年4月1日(3)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
令和3年度に報告する内容 → (3)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
スポーツ科学部 スポーツ科学科 学士（スポーツ科学）	体育関係	4年	120人	-	480人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	120 (-) [-]	- (-) [-]	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	0.90倍	- 倍	
志願者数	188 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
受験者数	187 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
合格者数	169 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	109 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	0.90												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	109 [-] (-)	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
2年次	/		[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
3年次	/		/		[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
4年次	/		/		/		[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
計	109 [-] (-)		[] [] ()		[] [] ()		[] [] ()		[] [] ()		

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和3年度	109 人	0 人	令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	人	人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
令和7年度	人	人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	人	人	
合計		0 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{109} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<スポーツ科学部 スポーツ科学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎能力形成科目	基礎ゼミナール	1前	2			3	3	3				
	情報処理基礎Ⅰ	1前	2					1				2
	情報処理基礎Ⅱ	1後	2					1				2
	コミュニケーションと音声表現	1前		2								1
	コミュニケーションと文章表現	1後		2								1
	防災・減災と生活(磐田市)	1後		2								1
	教養講座A	1前		2								1
	教養講座B	1後		2		1						
	教養講座C	1前		2								1
	高大連携プロジェクトA	1前		2		1						
	高大連携プロジェクトB	1前		2		1						
小計(11科目)	-	6	16	0	4	3	3	0	0	0	6	
外国語科目	英語Ⅰ	1前		2		1						
	英語Ⅱ	1後		2		1						
	英語Ⅲ	2前		2								1
	英語Ⅳ	2後		2								1
	中国語Ⅰ	1前		2								1
	中国語Ⅱ	1後		2								1
	中国語Ⅲ	2前		2								1
	中国語Ⅳ	2後		2								1
	コミュニケーション英語	1通		4		1						
	英会話Ⅰ	2前		2								1
	英会話Ⅱ	2後		2								1
海外研修	1前		2				1					
小計(12科目)	-	0	26	0	1	0	1	0	0	0	4	
教養科目	心理学	1前		2								1
	文学	1前		2								1
	言語学	1後		2								1
	日本国憲法	1前		2								1
	法学	1後		2								1
	社会学	1前		2								1
	経済学	1後		2								1
	産業史	1前		2								1
	環境学	1後		2								1
	数学	1前		2								1
	物理学	1後		2		1						
	化学	1前		2								1
	生命科学	1後		2								1
	情報科学	1後		2			1					
	社会実践講座A	1前		2		1						
	社会実践講座B	1後		2		1						
	特別共同講義	1後		2		1						
小計(17科目)	-	0	34	0	2	0	0	0	0	0	9	
体育実技科目	スポーツA	1前		1								1
	スポーツB	1後		1								1
	小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1
キャリア形成科目	キャリアデザイン概論A	1後		2								3
	キャリアデザイン概論B	2前		2								3
	キャリアデザイン講座Ⅰ	2後		2								3
	キャリアデザイン講座Ⅱ	3前		2								3
	キャリアデザイン講座Ⅲ	3後		2								3
	インターンシップA	1後		2								1
	インターンシップB	1後		2								1
小計(7科目)	-	6	8	0	0	0	0	0	0	0	4	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎能力形成科目	基礎ゼミナール	1前	2			4	4	4				
	情報処理基礎Ⅰ	1前	2					1				1
	情報処理基礎Ⅱ	1後	2					1				1
	コミュニケーションと音声表現	1前		2								1
	コミュニケーションと文章表現	1後		2								1
	防災・減災と生活(磐田市)	1後		2								1
	教養講座A	1前		2				1				1
	教養講座B	1後		2		1						
	教養講座C	1前		2								1
	高大連携プロジェクトA	1前		2		1						
	高大連携プロジェクトB	1前		2		1						
小計(11科目)	-	6	16	0	6	4	4	0	0	0	5	
外国語科目	英語Ⅰ	1前		2		1						
	英語Ⅱ	1後		2		1						
	英語Ⅲ	2前		2								1
	英語Ⅳ	2後		2								1
	中国語Ⅰ	1前		2								1
	中国語Ⅱ	1後		2								1
	中国語Ⅲ	2前		2								1
	中国語Ⅳ	2後		2								1
	コミュニケーション英語	1通		4		1						
	英会話Ⅰ	2前		2								1
	英会話Ⅱ	2後		2								1
海外研修(未開講)	1前		2					1				
小計(12科目)	-	0	26	0	1	0	1	0	0	0	4	
教養科目	心理学	1前		2								1
	文学	1前		2								1
	言語学	1後		2								1
	日本国憲法	1前		2								1
	法学	1後		2								1
	社会学	1前		2				1				
	経済学	1後		2								1
	産業史	1前		2								1
	環境学	1後		2								1
	数学	1前		2								1
	物理学	1後		2			1					
	化学	1前		2								1
	生命科学	1後		2								1
	情報科学	1後		2			1					
	社会実践講座A	1前		2		1						
	社会実践講座B	1後		2		1						
	特別共同講義	1後		2		1						
小計(17科目)	-	0	34	0	3	0	0	0	0	0	8	
体育実技科目	スポーツA	1前		1				1	1			2
	スポーツB	1後		1				1	1			2
	小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	1	1	0	0	2
キャリア形成科目	キャリアデザイン概論A	1後		2								3
	キャリアデザイン概論B	2前		2								3
	キャリアデザイン講座Ⅰ	2後		2								3
	キャリアデザイン講座Ⅱ	3前		2								3
	キャリアデザイン講座Ⅲ	3後		2								3
	インターンシップA	1後		2								1
	インターンシップB	1後		2								1
小計(7科目)	-	6	8	0	0	0	0	0	0	0	4	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
導入科目	スポーツ科学入門	1前	2			1	1					
	スポーツと教育	1前	2			3					1	
	ライフステージ運動論	1前	2				1					
	からだ気づき	1前		2		1						
	トレーニング科学	1後		2		1						
	体力学概論	1後		2			1	1				
	ストレスと健康の科学	1後		2							1	
	スポーツ文化論	1後		2		1						
	教育原理	1後		2							1	
	健康情報学	1後		2		1						
小計(10科目)	-	6	14	0	5	2	1	0	0	3		
基幹科目	運動生理学	2前	2				1					
	スポーツ文化史	2前	2			1						
	スポーツバイオメカニクス	2前	2					1				
	子どもスポーツ論	2前		2							1	
	体育原理	2前		2							1	
	運動方法学	2前		2			1					
	スポーツ心理学	2前		2							1	
	スポーツ医学	2前		2							1	
	公衆衛生学	2前		2							1	
小計(9科目)	-	6	12	0	1	2	1	0	0	5		
発展科目	女性とスポーツ	2後	2			1						
	体育測定法	2後	2					1				
	機能解剖学	2後		2			1					
	スポーツ栄養学	2後		2							1	
	ヘルスプロモーション概論	2後		2		1						
	生理心理学	2後		2							1	
	学校保健	2後		2		1		1			1	
	武道論	2後		2							1	
	レクリエーション論	2後		2							1	
	スポーツ経営管理論	2後		2							1	
	スポーツコーチング論	3前	2			1						
	スポーツ社会学	3前	2								1	
	加齢と老化の科学	3前		2			1					
	フィットネス概論	3前		2			1					
	コンディショニング演習	3前		2		1						
	スポーツ人類学	3前		2		1						
	ダンスと教育	3前		2		1						
	アダプテッドスポーツ論	3前		2							1	
	スポーツビジネス論	3前		2							1	
	地域スポーツ政策論	3前		2							1	
	救急処置法	3後	2					1				4
	アスレティックトレーニング論	3後		2				1				
	運動生理学実験演習	3後		2			1					
	臨床心理学	3後		2							1	
	スポーツマーケティング論	3後		2							1	
	スポーツ行政論	3後		2							1	
	スポーツイベント企画運営	3後		2							1	
	スポーツデータ解析	3後		2		1						
	トレーニング演習	4前		2		1	1					
	リハビリテーション論	4前		2				1				
	認知動作型トレーニング演習	4前		2							1	
	スポーツパフォーマンスの分析	4後		2		1	2	1				
	スポーツイベント企画運営演習	4後		2								1
	スポーツデータ解析演習	4後		2							1	
	保健体育科教育法Ⅰ	2後		2		2						
	保健体育科教育法Ⅱ	3前		2		2						
	保健体育科教育法Ⅲ	3後		2		1						
	保健体育科教育法Ⅳ	4前		2		2						
小計(38科目)	-	10	66	0	6	2	3	0	0	13		

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
導入科目	スポーツ科学入門	1前	2				1					1
	スポーツと教育	1前	2							2		2
	ライフステージ運動論	1前	2				1					
	からだ気づき	1前		2		1						
	トレーニング科学	1後		2		1						
	体力学概論	1後		2			1	1				
	ストレスと健康の科学	1後		2							1	
	スポーツ文化論	1後		2		1						
	教育原理	1後		2							1	
	健康情報学	1後		2		1						
小計(10科目)	-	6	14	0	4	2	1	0	0	4		
基幹科目	運動生理学	2前	2				1					
	スポーツ文化史	2前	2			1						
	スポーツバイオメカニクス	2前	2					1				
	子どもスポーツ論	2前		2							1	
	体育原理	2前		2						1		
	運動方法学	2前		2						1		
	スポーツ心理学	2前		2						1		
	スポーツ医学	2前		2						1		
	公衆衛生学	2前		2						1		
小計(9科目)	-	6	12	0	1	2	1	0	0	5		
発展科目	女性とスポーツ	2後	2			1						
	体育測定法	2後	2					1				
	機能解剖学	2後		2			1					
	スポーツ栄養学	2後		2							1	
	ヘルスプロモーション概論	2後		2		1						
	生理心理学	2後		2							1	
	学校保健	2後		2		1		1			1	
	武道論	2後		2							1	
	レクリエーション論	2後		2							1	
	スポーツ経営管理論	2後		2							1	
	スポーツコーチング論	3前	2			1						
	スポーツ社会学	3前	2								1	
	加齢と老化の科学	3前		2			1					
	フィットネス概論	3前		2			1					
	コンディショニング演習	3前		2		1						
	スポーツ人類学	3前		2		1						
	ダンスと教育	3前		2		1						
	アダプテッドスポーツ論	3前		2							1	
	スポーツビジネス論	3前		2							1	
	地域スポーツ政策論	3前		2							1	
	救急処置法	3後	2					1				4
	アスレティックトレーニング論	3後		2				1				
	運動生理学実験演習	3後		2			1					
	臨床心理学	3後		2							1	
	スポーツマーケティング論	3後		2							1	
	スポーツ行政論	3後		2							1	
	スポーツイベント企画運営	3後		2							1	
	スポーツデータ解析	3後		2		1						
	トレーニング演習	4前		2		1	1					
	リハビリテーション論	4前		2				1				
	認知動作型トレーニング演習	4前		2							1	
	スポーツパフォーマンスの分析	4後		2		1	2	1				
	スポーツイベント企画運営演習	4後		2								1
	スポーツデータ解析演習	4後		2							1	
	保健体育科教育法Ⅰ	2後		2		2						
	保健体育科教育法Ⅱ	3前		2		2						
	保健体育科教育法Ⅲ	3後		2		1						
	保健体育科教育法Ⅳ	4前		2		2						
小計(38科目)	-	10	66	0	5	2	3	0	0	14		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
実技科目	水泳	2前	1								1
	球技(バスケットボール)	2前	1								1
	武道(柔道)	2前	1								1
	体づくり運動	2後	1		1						
	陸上競技	2後	1								1
	ダンス	2後	1		1						
	器械運動	3前	1				1				
	球技(サッカー)	3前	1			1					
	球技(バレーボール)	3後	1								1
	球技(テニス)	3後	1					1			
野外活動実習	4前	1			1	2					
小計(11科目)	-	0	11	0	2	1	2	0	0	0	5
特殊研究科目	専門演習A	2前	2				1				
	専門演習B	2後	2				1				
	専門演習C	2前	2								1
	専門演習D	2後	2								1
	専門ゼミナールⅠ	3前	2		3	3	3				
	専門ゼミナールⅡ	3後	2		3	3	3				
	卒業研究	4通	4		3	3	3				
小計(7科目)	-	0	16	0	3	3	3	0	0	0	1
教職関連科目	教職入門(教師論)	1前			2						1
	教育社会学	1前			2						1
	教育心理学	3前			2						1
	特別支援教育総論	1後			2						1
	教育課程と方法	2前			2		1				
	道德教育	1後			2						1
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2前			2	1	1				
	教育の方法と技術	2後			2		1				
	生徒指導	3前			2	1					1
	教育相談	3前			2						1
	進路指導	3後			2						2
	事前事後指導	3後・4前			2	2		1			1
	教育実習Ⅰ	4前			2	2		1			1
	教育実習Ⅱ	4前			4	2		1			1
	教職実践演習(中・高)	4後			2	2		1			1
小計(15科目)	-	0	0	32	2	1	1	0	0	0	8
合計(139科目)	-	34	205	32	7	3	3	0	0	0	45

卒業要件及び履修方法

<卒業要件>

以下1、2により124単位以上を修得すること。

- 基礎教育科目 30単位
 - ・基盤能力形成科目 必修 6単位
 - ・外国語科目 4単位を選択必修
 - ・キャリア形成科目 必修 6単位
 - ・基礎教育科目から14単位を選択
- 専門教育科目 94単位
 - ・導入科目 必修 6単位
 - ・基幹科目 必修 6単位
 - ・発展科目 必修 10単位
 - ・実技科目 2単位を選択必修
 - ・特殊研究科目 8単位を選択必修
 - ・専門教育科目から62単位を選択

※「卒業研究」は「専門ゼミナールⅠ」及び「専門ゼミナールⅡ」を履修した者のみ履修が可能
 ※教職関連科目については、教員免許状の取得を希望する者のみ履修が可能であり、卒業要件には算入されない。

<履修科目の登録の上限>

1～3年次 44単位(年間)、4年次 52単位(年間)

※ただし、以下の科目は年間登録上限に含まれない。

高大連携プロジェクトA・B、海外研修、社会実践講座A・B、特別共同講義、インターンシップA・B、卒業研究、教職関連科目

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
実技科目	水泳	2前	1								1
	球技(バスケットボール)	2前	1								1
	武道(柔道)	2前	1								1
	体づくり運動	2後	1		1						
	陸上競技	2後	1								1
	ダンス	2後	1		1						
	器械運動	3前	1				1				
	球技(サッカー)	3前	1			1					
	球技(バレーボール)	3後	1								1
	球技(テニス)	3後	1						1		
野外活動実習	4前	1			1	2					
小計(11科目)	-	0	11	0	2	1	2	0	0	0	5
特殊研究科目	専門演習A	2前	2						1		
	専門演習B	2後	2					1			
	専門演習C	2前	2								1
	専門演習D	2後	2								1
	専門ゼミナールⅠ	3前	2		3	3	3				
	専門ゼミナールⅡ	3後	2		3	3	3				
	卒業研究	4通	4		3	3	3				
小計(7科目)	-	0	16	0	3	3	3	0	0	0	1
教職関連科目	教職入門(教師論)	1前			2						1
	教育社会学	1前			2			1			
	教育心理学	3前			2						1
	特別支援教育総論	1後			2						1
	教育課程と方法	2前			2						1
	道德教育	1後			2						1
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2前			2	1	1				
	教育の方法と技術	2後			2		1				
	生徒指導	3前			2	1					1
	教育相談	3前			2						1
	進路指導	3後			2						1
	事前事後指導	3後・4前			2	2		1			
	教育実習Ⅰ	4前			2	2		1			1
	教育実習Ⅱ	4前			4	2		1			1
	教職実践演習(中・高)	4後			2	2		1			1
小計(15科目)	-	0	0	32	3	1	1	0	0	0	8
合計(139科目)	-	34	205	32	7	4	4	0	0	0	47

卒業要件及び履修方法

<卒業要件>

以下1、2により124単位以上を修得すること。

- 基礎教育科目 30単位
 - ・基盤能力形成科目 必修 6単位
 - ・外国語科目 4単位を選択必修
 - ・キャリア形成科目 必修 6単位
 - ・基礎教育科目から14単位を選択
- 専門教育科目 94単位
 - ・導入科目 必修 6単位
 - ・基幹科目 必修 6単位
 - ・発展科目 必修 10単位
 - ・実技科目 2単位を選択必修
 - ・特殊研究科目 8単位を選択必修
 - ・専門教育科目から62単位を選択

※「卒業研究」は「専門ゼミナールⅠ」及び「専門ゼミナールⅡ」を履修した者のみ履修が可能
 ※教職関連科目については、教員免許状の取得を希望する者のみ履修が可能であり、卒業要件には算入されない。

<履修科目の登録の上限>

1～3年次 44単位(年間)、4年次 52単位(年間)

※ただし、以下の科目は年間登録上限に含まれない。

高大連携プロジェクトA・B、海外研修、社会実践講座A・B、特別共同講義、インターンシップA・B、卒業研究、教職関連科目

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・ 教育上の効果向上のため「基礎ゼミナール」の教員配置を「教授3」「准教授3」「講師3」から「教授4」「准教授4」「講師4」に変更。
- ・ 教育課程編成上の都合により「情報処理基礎Ⅰ」「情報処理基礎Ⅱ」の教員配置を「講師1」「兼任・兼任2」から「講師1」「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員の身分変更により「社会学」「教育社会学」の教員配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・ 教育上の効果向上のため「スポーツA」「スポーツB」の教員配置を「兼任・兼任1」から「准教授1」「講師1」「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当教員の身分変更により「スポーツ科学入門」の教員配置を「教授1」「准教授1」から「准教授1」「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員の身分変更により「スポーツと教育」の教員配置を「教授3」「兼任・兼任1」から「教授2」「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当教員の身分変更により「保健体育科教育法Ⅲ」の教員配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教職課程認定審査における指摘事項により「教育課程と方法」の担当教員を変更したため、当該科目の教員配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員の身分変更により「進路指導」の教員配置を「兼任・兼任2」から「教授1」「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員の身分変更により「事前事後指導」「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」「教職実践演習(中・高)」の教員配置を「教授2」「講師1」「兼任・兼任1」から「教授3」「講師1」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
17 科目	107 科目	15 科目	139 科目	17 科目	107 科目	15 科目	139 科目	
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	海外研修	2	1前	一般	選択	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未開講とした。代替措置は無し。
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、学生の安全を第一に考え未開講とした。今後の状況を踏まえ、代替措置について検討する。 ・ 学生にはオリエンテーション時に周知した。 |
|---|

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{1}{139} = \boxed{0.71} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 借用面積1: 1,933 m ² 借用面積2: 879 m ² 借用合計: 2,812 m ² 借用期間1: 8.5 年 借用期間2: 4.0 年 (自動更新契約)			
	校舎敷地	28,785 m ²	0 m ²	0 m ²	28,785 m ²				
	運動場用地	47,792 m ²	0 m ²	0 m ²	47,792 m ²				
	小 計	76,577 m ²	0 m ²	0 m ²	76,577 m ²				
	そ の 他	21,746 m ²	0 m ²	0 m ²	21,746 m ²				
合 計	98,323 m ²	0 m ²	0 m ²	98,323 m ²					
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	21,592 m ² (21,592 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	21,592 m ² (21,592 m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	49室	22室	10室	7室 (補助職員 0 人)	0室 (補助職員 0 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			令和3年4月 専任教員1名、講師1名を新規 採用のため(3)			
	スポーツ科学部スポーツ科学科		15 -14 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	学部単位での特定不能 なため、大学全体の数 受入数変動による (3)	
		[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種	電子ジャーナル [うち外国書]					
		スポーツ科学部	76,860[8,920] (72,788[8,741]) (72,860[8,720])	(405[98]) (341[87]) (405[98]) (341[87])					36,387[36,321] (32,168[32,100]) (32,387[32,321])
		計	76,860[8,920] (72,788[8,741]) (72,860[8,720])	(405[98]) (341[87]) (405[98]) (341[87])					36,387[36,321] (32,168[32,100]) (32,387[32,321])
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	1,652 m ²		323		131,278				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	8,750m ²		サ ッ カ ー 場 2 面 野 球 場 1 面 テ ニ ス コ ー ト 4 面 フ ッ ト サ ル コ ー ト 2 面						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	※共同研究費は、採択 された研究1件あたり に助成される最大の金 額。
		教員1人当り研究費等	350千円	350千円	図書購入費	10,000千円	10,000千円	10,000千円	
	共 同 研 究 費 等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	5,000千円	5,000千円	5,000千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		※図書購入費には、電 子ジャーナル・デー タベースの整備費(運用 コスト含む)を含む。
1,233千円	1,158千円	1,158千円	1,158千円	— 千円	— 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、手数料収入、雑収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		静岡産業大学					学生募集停止学科数	3	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
経営学部											
経営学科	4	200	3年次10	710	学士(経営学)	1.02	1.07	平成31	平成17	静岡県藤枝市駿河台4丁目1番1号 静岡県磐田市大原1572番地1	定員変更(110) 編入学定員変更(8)
心理経営学科	4	150	-	360	学士(心理経営学)	1.00	1.07	令和3 平成31	平成24	同上	定員変更(80) 編入学定員変更(Δ2)
スポーツ経営学科	4	-	-	-	学士(スポーツ経営学)	-	-	-	平成17	静岡県磐田市大原1572番地1	令和3年度学生募集停止
情報学部											
情報デザイン学科	4	-	-	-	学士(情報学)	-	-	-	平成17	静岡県藤枝市駿河台4丁目1番1号	平成31年度学生募集停止
国際情報学科	4	-	-	-	学士(国際情報学)	-	-	-	平成17	同上	平成31年度学生募集停止
スポーツ科学部											
スポーツ科学科	4	120	0	120	学士(スポーツ科学)	0.90	0.90	-	令和3	静岡県磐田市大原1572番地1	
大学全体	-	470	10	1190	-	-	-	-	-	-	
大学の名称	該当なし					学生募集停止学科数		平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数		備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<スポーツ科学部 スポーツ科学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	小澤 治夫 (71) <令和3年4月> 医学博士	スポーツ科学入門※ スポーツと教育※ 保健体育科教育法Ⅲ
専	教授	峯川 恒夫 (73) <令和3年4月> 学術博士	教養講座B スポーツと教育※ スポーツ文化論 スポーツ文化史 スポーツ人類学
専	教授	青木 優 (54) <令和3年4月> 博士(工学)	高次連携プロジェクトA 高次連携プロジェクトB 物理学 情報科学 社会実践講座A 社会実践講座B スポーツデータ解析 スポーツデータ解析演習 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業研究
専	教授	後藤 隆浩 (59) <令和3年4月> 文学修士※	基礎ゼミナール 英語Ⅰ 英語Ⅱ コミュニケーション英語 特別共同講義 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業研究
専	教授	高橋 和子 (68) <令和3年4月> 体育学修士	スポーツと教育※ からだ気つき 女性とスポーツ ダンスと教育 保健体育科教育法Ⅰ※ 保健体育科教育法Ⅱ※ 保健体育科教育法Ⅳ※ 体づくり運動 ダンス 事前事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
専	教授	中西 健一郎 (47) <令和3年4月> 修士(体育学)	トレーニング科学 スポーツコーチング論 コンディショニング演習 トレーニング演習※ スポーツパフォーマンスの分析 球技(サッカー) 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業研究 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法※ 生徒指導※ 事前事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
専	教授	和田 雅史 (68) <令和3年4月> 医学博士	基礎ゼミナール 健康情報学 ヘルスプロモーション概論 学校保健※ 保健体育科教育法Ⅰ※ 保健体育科教育法Ⅱ※ 保健体育科教育法Ⅳ※
専	准教授	館 優樹 (43) <令和3年4月> 修士(人間科学)※	基礎ゼミナール スポーツ科学入門※ ライフステージ運動論 運動方法学 機能解剖学 加齢と老化の科学 フィットネス概論 トレーニング演習※ スポーツパフォーマンスの分析 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任 講師		小澤 治夫 (71) <令和3年4月> 医学博士	スポーツ科学入門※ スポーツと教育※ 保健体育科教育法Ⅲ
専	教授	峯川 恒夫 (73) <令和3年4月> 学術博士	教養講座B スポーツと教育※ スポーツ文化論 スポーツ文化史 スポーツ人類学
専	教授	青木 優 (54) <令和3年4月> 博士(工学)	高次連携プロジェクトA 高次連携プロジェクトB 物理学 情報科学 社会実践講座A 社会実践講座B スポーツデータ解析 スポーツデータ解析演習 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業研究
専	教授	後藤 隆浩 (59) <令和3年4月> 文学修士※	基礎ゼミナール 英語Ⅰ 英語Ⅱ コミュニケーション英語 特別共同講義 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業研究
専	教授	高橋 和子 (68) <令和3年4月> 体育学修士	スポーツと教育※ からだ気つき 女性とスポーツ ダンスと教育 保健体育科教育法Ⅰ※ 保健体育科教育法Ⅱ※ 保健体育科教育法Ⅳ※ 体づくり運動 ダンス 事前事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
専	教授	中西 健一郎 (47) <令和3年4月> 修士(体育学)	基礎ゼミナール トレーニング科学 スポーツコーチング論 コンディショニング演習 トレーニング演習※ スポーツパフォーマンスの分析 球技(サッカー) 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業研究 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法※ 生徒指導※ 事前事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
専	教授	和田 雅史 (68) <令和3年4月> 医学博士	基礎ゼミナール 健康情報学 ヘルスプロモーション概論 学校保健※ 保健体育科教育法Ⅰ※ 保健体育科教育法Ⅱ※ 保健体育科教育法Ⅳ※
専	准教授	館 優樹 (43) <令和3年4月> 修士(人間科学)※	基礎ゼミナール スポーツ科学入門※ ライフステージ運動論 運動方法学 機能解剖学 加齢と老化の科学 フィットネス概論 トレーニング演習※ スポーツパフォーマンスの分析 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	江間 諒一 (34) <令和3年4月> 博士(スポーツ科学)	基礎ゼミナール 体力学概論※ 運動生理学 運動生理学実験演習 スポーツパフォーマンスの分析 野外活動実習 専門演習B 専門ゼミナールI 専門ゼミナールII 卒業研究
専任	准教授	佐藤 知象 (43) <令和3年4月> 修士(教育学)	基礎ゼミナール 専門ゼミナールI 専門ゼミナールII 卒業研究 教育課程と方法 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法※ 教育の方法と技術
専任	講師	徐 広孝 (34) <令和3年4月> 修士(体育学)※	基礎ゼミナール 情報処理基礎I 情報処理基礎II 体育測定法 球技(テニス) 野外活動実習 専門ゼミナールI 専門ゼミナールII 卒業研究 事前事後指導 教育実習I 教育実習II 教職実践演習(中・高)
専任	講師	宮崎 彰吾 (35) <令和3年4月> 博士(体育科学)	基礎ゼミナール 海外研修 体力学概論※ スポーツバイオメカニクス スポーツパフォーマンスの分析 器械運動 野外活動実習 専門ゼミナールI 専門ゼミナールII 卒業研究
専任	講師	中井 真吾 (43) <令和3年4月> 修士(人間科学)	基礎ゼミナール 学校保健※ 救急処置法※ アスレティックトレーニング論 リハビリテーション論 専門演習A 専門ゼミナールI 専門ゼミナールII 卒業研究
兼任	教授	竹森 公彦 (66) <令和3年4月> 文学士	防災・減災と生活(鋸田市) 地域スポーツ政策論
兼任	教授	小谷内 郁宏 (66) <令和3年4月> 文学修士※	英語III 英語IV 文学
兼任	教授	劉 志宏 (66) <令和3年4月> 博士(学術)	中国語III 中国語IV 産業史
兼任	教授	法月 健 (56) <令和3年4月> Master of Science(英国)	言語学
兼任	教授	松永 由弥子 (55) <令和3年4月> 教育学修士	社会学 教育社会学 進路指導※ 事前事後指導 教育実習I 教育実習II 教職実践演習(中・高)
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	江間 諒一 (34) <令和3年4月> 博士(スポーツ科学)	基礎ゼミナール 体力学概論※ 運動生理学 運動生理学実験演習 スポーツパフォーマンスの分析 野外活動実習 専門演習B 専門ゼミナールI 専門ゼミナールII 卒業研究
専任	准教授	佐藤 知象 (43) <令和3年4月> 修士(教育学)	基礎ゼミナール 専門ゼミナールI 専門ゼミナールII 卒業研究 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法※ 教育の方法と技術
専任	准教授	笠井 義明 (60) <令和3年4月> 教育学士	基礎ゼミナール スポーツA スポーツB
専任	講師	徐 広孝 (34) <令和3年4月> 修士(体育学)※	基礎ゼミナール 情報処理基礎I 情報処理基礎II 体育測定法 球技(テニス) 野外活動実習 専門ゼミナールI 専門ゼミナールII 卒業研究 事前事後指導 教育実習I 教育実習II 教職実践演習(中・高)
専任	講師	宮崎 彰吾 (35) <令和3年4月> 博士(体育科学)	基礎ゼミナール 海外研修 体力学概論※ スポーツバイオメカニクス スポーツパフォーマンスの分析 器械運動 野外活動実習 専門ゼミナールI 専門ゼミナールII 卒業研究
専任	講師	中井 真吾 (43) <令和3年4月> 修士(人間科学)	基礎ゼミナール 学校保健※ 救急処置法※ アスレティックトレーニング論 リハビリテーション論 専門演習A 専門ゼミナールI 専門ゼミナールII 卒業研究
専任	講師	清宮 孝文 (30) <令和3年4月> 博士(体育科学)	基礎ゼミナール スポーツA スポーツB
兼任	教授	竹森 公彦 (66) <令和3年4月> 文学士	防災・減災と生活(鋸田市) 地域スポーツ政策論
兼任	教授	小谷内 郁宏 (66) <令和3年4月> 文学修士※	英語III 英語IV 文学
兼任	教授	劉 志宏 (66) <令和3年4月> 博士(学術)	中国語III 中国語IV 産業史
兼任	教授	法月 健 (56) <令和3年4月> Master of Science(英国)	言語学
専任	教授	松永 由弥子 (55) <令和3年4月> 教育学修士	基礎ゼミナール 社会学 教育社会学 進路指導※ 事前事後指導 教育実習I 教育実習II 教職実践演習(中・高)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大塚 兼男 (69) <令和3年4月> 医学博士
		化学 生命科学 公衆衛生学
兼任	教授	塚本 博之 (58) <令和3年4月> 教育学士
		スポーツA スポーツB 球技(ハレーボール)
兼任	教授	山田 一之 (62) <令和3年4月> 博士(人間科学)
		ストレスと健康の科学 生理心理学 臨床心理学
兼任	教授	谷口 正昭 (62) <令和4年4月> 修士(教育学)
		専門演習C 専門演習D
兼任	教授	漁田 俊子 (71) <令和5年4月> 博士(情報学)
		教育心理学
兼任	准教授	宮地 由紀子 (67) <令和3年4月> 修士(教育学)
		教養講座A
兼任	准教授	野崎 英二 (65) <令和3年4月> 経営学士
		インターンシップA インターンシップB 進路指導※
兼任	准教授	山田 悟史 (48) <令和4年4月> 修士(体育学)※
		子どもスポーツ論 水泳
兼任	准教授	大沼 博靖 (54) <令和4年4月> 修士(体育学)※
		レクリエーション論 スポーツ経営理論 スポーツビジネス論 スポーツ行政論 スポーツイベント企画運営 スポーツイベント企画運営演習
兼任	講師	久保田 貴之 (33) <令和3年4月> 博士(学術)
		情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ 心理学
兼任	講師	佐藤 寛子 (53) <令和3年4月> 修士(医科学)
		情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ
兼任	講師	谷口 昭彦 (53) <令和3年4月> 博士(経済学)
		経済学 環境学
兼任	講師	大川 義一 (66) <令和3年4月> 文学士
		コミュニケーションと音声表現 コミュニケーションと文章表現
兼任	講師	鳥海 順子 (67) <令和3年4月> 博士(心身障害学)
		教養講座C 特別支援教育総論
兼任	講師	倉 虹(寧伊静) (57) <令和3年4月> 修士(国際関係)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	SHEFTALL MORDECAI GEORGE (59) <令和4年4月> 博士(国際学)
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ
兼任	講師	緒方 博幸 (56) <令和3年4月> 法学修士・修士(商学)
		日本国憲法 法学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大塚 兼男 (69) <令和3年4月> 医学博士
		化学 生命科学 公衆衛生学
兼任	教授	塚本 博之 (58) <令和3年4月> 教育学士
		スポーツA スポーツB 球技(ハレーボール)
兼任	教授	山田 一之 (62) <令和3年4月> 博士(人間科学)
		ストレスと健康の科学 生理心理学 臨床心理学
兼任	教授	谷口 正昭 (61) <令和4年4月> 修士(教育学)
		専門演習C 専門演習D
兼任	教授	漁田 俊子 (70) <令和5年4月> 博士(情報学)
		教育心理学
兼任	准教授	宮地 由紀子 (67) <令和3年4月> 修士(教育学)
		教養講座A
兼任	准教授	野崎 英二 (65) <令和3年4月> 経営学士
		インターンシップA インターンシップB 進路指導※
兼任	教授	山田 悟史 (47) <令和4年4月> 修士(体育学)※
		子どもスポーツ論 水泳
兼任	教授	大沼 博靖 (53) <令和4年4月> 修士(体育学)※
		レクリエーション論 スポーツ経営理論 スポーツビジネス論 スポーツ行政論 スポーツイベント企画運営 スポーツイベント企画運営演習
兼任	准教授	久保田 貴之 (33) <令和3年4月> 博士(学術)
		心理学
兼任	准教授	佐藤 寛子 (53) <令和3年4月> 修士(医科学)
		情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ
兼任	准教授	谷口 昭彦 (53) <令和3年4月> 博士(経済学)
		経済学 環境学
兼任	講師	大川 義一 (66) <令和3年4月> 文学士
		コミュニケーションと音声表現 コミュニケーションと文章表現
兼任	講師	鳥海 順子 (67) <令和3年4月> 博士(心身障害学)
		教養講座C 特別支援教育総論
兼任	講師	倉 虹(寧伊静) (57) <令和3年4月> 修士(国際関係)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	SHEFTALL MORDECAI GEORGE (59) <令和4年4月> 博士(国際学)
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ
兼任	講師	緒方 博幸 (56) <令和3年4月> 法学修士・修士(商学)
		日本国憲法 法学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	星賀 彰 (52) <令和3年4月> 博士(理学)
		数学
兼任	講師	長崎 一朗 (58) <令和3年4月> 商学士
		キャリアデザイン概論A キャリアデザイン概論B キャリアデザイン講座I キャリアデザイン講座II キャリアデザイン講座III
兼任	講師	富田 美穂子 (51) <令和3年4月> 準学士(文学)
		キャリアデザイン概論A キャリアデザイン概論B キャリアデザイン講座I キャリアデザイン講座II キャリアデザイン講座III
兼任	講師	飯田 純子 (60) <令和3年4月> 準学士(英文学)
		キャリアデザイン概論A キャリアデザイン概論B キャリアデザイン講座I キャリアデザイン講座II キャリアデザイン講座III
兼任	講師	小林 寛道 (77) <令和3年4月> 教育学博士
		スポーツと教育※ 認知動作型トレーニング演習
兼任	講師	角替 弘規 (51) <令和3年4月> 修士(教育学)※
		教育原理 教職入門(教師論)
兼任	講師	阿部 悟郎 (57) <令和4年4月> 博士(体育科学)
		体育原理
兼任	講師	武田 大輔 (46) <令和4年4月> 博士(体育科学)
		スポーツ心理学
兼任	講師	鳥居 俊 (63) <令和4年4月> 博士(スポーツ科学)
		スポーツ医学
兼任	講師	河村 美樹 (38) <令和4年4月> 学士(栄養科学)
		スポーツ栄養学
兼任	講師	市江 和子 (66) <令和4年4月> 博士(医学)
		学校保健※
兼任	講師	中西 英敏 (63) <令和4年4月> 体育学修士
		武道論 武道(柔道)
兼任	講師	住田 健 (43) <令和5年4月> PhD(Marketing)(ニュー・ラント)
		スポーツ社会学 スポーツマーケティング論
兼任	講師	吉岡 尚美 (55) <令和5年4月> 博士(学術)
		アダプテッドスポーツ論
兼任	講師	山崎 薫 (65) <令和5年4月> 博士(医学)
		救急処置法※
兼任	講師	猿川 潤一郎 (46) <令和5年4月> 博士(医学)
		救急処置法※
兼任	講師	鈴木 隆辰 (46) <令和5年4月> 学士(医学)
		救急処置法※
兼任	講師	大石 崇人 (43) <令和5年4月> 学士(医学)
		救急処置法※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	星賀 彰 (52) <令和3年4月> 博士(理学)
		数学
兼任	講師	長崎 一朗 (58) <令和3年4月> 商学士
		キャリアデザイン概論A キャリアデザイン概論B キャリアデザイン講座I キャリアデザイン講座II キャリアデザイン講座III
兼任	講師	富田 美穂子 (52) <令和3年4月> 準学士(文学)
		キャリアデザイン概論A キャリアデザイン概論B キャリアデザイン講座I キャリアデザイン講座II キャリアデザイン講座III
兼任	講師	飯田 純子 (60) <令和3年4月> 準学士(英文学)
		キャリアデザイン概論A キャリアデザイン概論B キャリアデザイン講座I キャリアデザイン講座II キャリアデザイン講座III
兼任	講師	小林 寛道 (77) <令和3年4月> 教育学博士
		スポーツと教育※ 認知動作型トレーニング演習
兼任	講師	角替 弘規 (51) <令和3年4月> 修士(教育学)※
		教育原理 教職入門(教師論)
兼任	講師	阿部 悟郎 (57) <令和4年4月> 博士(体育科学)
		体育原理
兼任	講師	武田 大輔 (45) <令和4年4月> 博士(体育科学)
		スポーツ心理学
兼任	講師	鳥居 俊 (62) <令和4年4月> 博士(スポーツ科学)
		スポーツ医学
兼任	講師	河村 美樹 (38) <令和4年4月> 学士(栄養科学)
		スポーツ栄養学
兼任	講師	市江 和子 (65) <令和4年4月> 博士(医学)
		学校保健※
兼任	講師	中西 英敏 (62) <令和4年4月> 体育学修士
		武道論 武道(柔道)
兼任	講師	住田 健 (41) <令和5年4月> PhD(Marketing)(ニュー・ラント)
		スポーツ社会学 スポーツマーケティング論
兼任	講師	吉岡 尚美 (53) <令和5年4月> 博士(学術)
		アダプテッドスポーツ論
兼任	講師	山崎 薫 (63) <令和5年4月> 博士(医学)
		救急処置法※
兼任	講師	猿川 潤一郎 (44) <令和5年4月> 博士(医学)
		救急処置法※
兼任	講師	鈴木 隆辰 (44) <令和5年4月> 学士(医学)
		救急処置法※
兼任	講師	大石 崇人 (42) <令和5年4月> 学士(医学)
		救急処置法※

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・笠井義明専任准教授、清宮孝文専任講師を新規採用。
- ・小澤治夫専任教授 専任教授から兼任講師へ身分変更。
- ・松永由弥子兼担教授 兼担教授から専任教授へ身分変更。
- ・山田悟史兼担准教授、大沼博靖兼担准教授 兼担教授に昇任。
- ・久保田貴之兼担講師、佐藤寛子兼担講師、谷口昭彦兼担講師 兼担准教授に昇任。
- ・青木優専任教授の担当科目調整により、「基礎ゼミナール」の担当を中西健一郎専任教授に変更。
- ・「基礎ゼミナール」の担当教員として、松永由弥子専任教授、笠井義明専任准教授、清宮孝文専任講師を追加。
- ・「スポーツA」「スポーツB」の担当教員として笠井義明専任准教授、清宮孝文専任講師、森田重貴兼任講師を追加。
- ・久保田貴之兼担准教授の担当科目調整により、「情報処理基礎Ⅰ」「情報処理基礎Ⅱ」を削除。
- ・「教育課程と方法」の担当教員を佐藤知条専任准教授から白鳥絢也兼任講師に変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
13	7
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
7	3	3	0	13	0	7	4	4	0	15	0
(7)	(3)	(3)	(0)	(13)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
7	4	4	0	15	0	7	4	4	0	15	0
[0]	[1]	[1]	[0]	[2]	[0]	[0]	[1]	[1]	[0]	[2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
68	3	3
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{13} = \boxed{115.38} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{3}{15} = \boxed{20} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	小澤 治夫	R2.12	必修	スポーツ科学入門	②	R2.12 健康上の理由により就任辞退（3）						
				必修	スポーツと教育	②							
				選択	保健体育科教育法Ⅲ	②							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	0	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	0	科目	計	3	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任担当教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし											
合計（F）				後任補充状況の集計（G）									
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任担当教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）									
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	0	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	0	科目	計	3	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{13} = \boxed{7.69} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 小澤治夫専任教授は専任教員としては就任辞退したが、兼任講師として当初予定どおりの科目を担当しているため、学生の履修には支障ない。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画	
届 出 時 (令和2年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	遵守事項 完成年度までに定年年齢を超える専任教員については「学校法人新静岡学園就業規則」「静岡産業大学特別任用教員に関する規程」に定める規定により、定年または任用期間を延長することができる。これらの延長については、理事会承認を得ている。 また、学部長予定者が健康上の理由により就任を辞退、他の専任教員が学部長に就任することとなったため、開設時に新たに教員2名（准教授1名・講師1名）を採用し、教員組織の強化を図った。	履行中	学部の3ポリシーに沿った教育研究の継承性を基本とした教員人事計画を策定し、年齢構成と各専門領域の職位別配置を考慮した適正な教員組織編成となるよう採用人事を進める。
設置計画履行状況調査時 (平成〇〇年)				
設置計画履行状況調査時 (平成△△年)				
設置計画履行状況調査時 (平成□□年)				
設置計画履行状況調査時 (令和□□年)				
設置計画履行状況調査時 (令和□□年)				

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<スポーツ科学部 スポーツ科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 学部教務委員会においてFD、SDの企画、立案及び実施に関することについて協議している。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 原則毎月1回開催(教員5名、事務職員1名が出席)</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートの実施 ・全学ラーニングメソッド研究会の企画、立案 ・全学研究発表大会の企画、立案 ・教員相互の授業参観の実施 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学ラーニングメソッド研究会 教員が授業の改善方法を発表し、それについて意見交換をする。 ・全学研究発表大会 教員が自らの専門分野の研究発表を行い、研究の活性化と研究水準の向上を図る。 ・教員相互の授業参観 教員相互に授業を参観し、自らの授業改善に役立てる。 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学ラーニングメソッド研究会 わかりやすく、学生をやる気にさせる工夫を授業に取り入れ、学生が学問の楽しさに気づくようなメソッド開発を行うため、毎年1回開催。 ・全学研究発表大会 学部や専門分野を超えた研究方法の確立を目指し、毎年1回開催。 ・教員相互の授業参観 他教員の授業を参観し、これに対する意見交換を年1回行っている。 <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学ラーニングメソッド研究会、全学研究発表大会、授業参観、いずれも専任教員は全員参加となっている。研究発表を行う教員は毎年4名程度、授業参観については、全専任教員に対して1つ以上の授業参観を義務づけている。 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 全学ラーニングメソッド研究会、授業参観において、教授方法の開発と改善に取り組み、教育力の向上を図っている。</p>

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期、後期隔年で実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

ポータルサイトを活用し、授業アンケートを実施しており、授業担当教員はポータルサイトからアンケート結果を確認できる。また、専任教員は「教育研究等実践報告」において、授業アンケートに対する改善結果を報告している。アンケート結果は学生に公表し、学生が授業の選択に活かせるようにしている。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

スポーツ科学部のアドミッション・ポリシーに沿った入学者の選考を実施したが、令和3年度については入学定員を満たすことができなかった。次年度以降は、スポーツ科学部の教育内容をより積極的に広報し、定員確保につなげる。

設置の趣旨・目的に従い計画どおりの教育研究活動を実施しているが、教員組織については2名増員し、強化を図った。今後も新たな課題への取り組みや問題点の改善に努め、設置の趣旨に沿った教育研究の維持向上を目指していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成27年度報告書 公表済
- ・令和4年度報告書 令和4年6月公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和4年6月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・平成27年度に評価機関（公益財団法人 日本高等教育評価機構）による評価を受け、「大学評価基準に適合している」と認定された。
- ・令和4年度に評価機関（公益財団法人 日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で対応中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [()]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

静岡産業大学教務委員会規程

(設 置)

第1条 静岡産業大学の各学部に教務委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目 的)

第2条 委員会は、各学部の教務に関する事項を審議し、あわせてこれに関し、学部内の連絡調整を図ることを目的とする。

(所掌事項)

第3条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 教育課程、授業計画、試験及び成績等に関すること
- (2) 入学、編入学、進級及び卒業等に関すること
- (3) 教育の施設及び教材等に関すること
- (4) FD、SDの企画、立案及び実施に関すること
- (5) その他教務に関すること

(組 織)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 学部長が選任した専任教員 若干名
- (2) 大学事務局教務課長

(任 期)

第5条 前条第1号の委員の任期は、原則として2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(委員長)

第6条 委員会に委員長を置き、学部長が選任する。

- 2 委員長は、委員会を代表し、委員会の業務を統括する。
- 3 委員会に副委員長を1名置き、委員長が指名する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、必要に応じてその職務を代行する。

(会 議)

第7条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員の3分の2以上の出席により成立し、議事は、出席者の過半数をもって決する。可否同数のときは、議長がこれを決する。
- 3 委員長が必要と認めるときは、委員以外の教職員を出席させることができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、教務課において行う。

(委任)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

(改正)

第10条 この規程の改正は、大学協議会の議を経て学長が行う。

附則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附則

この規程の改正は、平成20年4月1日から施行する。

附則

この規程の改正は、平成21年4月1日から施行する。

附則

この規程の改正は、平成25年4月1日から施行する。

附則

この規程の改正は、平成27年4月1日から適用する。

附則

この規程の改正は、平成28年4月1日から適用する。

附則

1 この規程の改正は、平成29年4月1日から施行する。

2 この規程の改正に伴い、「静岡産業大学学部カリキュラム委員会規程（平成18年4月1日施行）」は、平成29年3月31日をもって廃止する。

附則

この規程の改正は、平成30年4月1日から施行する。

附則

この規程の改正は、令和3年4月1日から施行する。